

研修展示館 常設展示

リニューアルオープン!

5月18日(土) 9時から公開します



2階・3階に
休憩スペースが
できました

植物の多様性の不思議、そしてかけがえのなさ、またそれを守るための植物園の活動を分かりやすく紹介するため、研修展示館の屋内展示を一新しました。パネル・映像展示に加え、手で触れる展示やパズル、ゲームなど、多様な植物について誰もが楽しく学べる展示です。

〈1階〉『植物が支える豊かな世界』

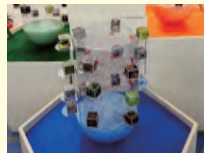
〈1階～2階 階段〉『生物進化の階段』

〈2階〉『滅びゆく植物を守る』

〈3階〉『花:植物のいのちをかけた誘惑』



1F『植物が支える豊かな世界』より
映像展示「つながる多様性」
5つのストーリーとパズルで学ぶコーナーです。



2F『滅びゆく植物を守る』より
触れる展示「生物多様性バランスゲーム」
生き物のつながりが崩れると...どうなる?

5月18日(土)は
「国際博物館の日」のため
入園無料です

国際 **INTERNATIONAL**
博物館 **MUSEUM**
の日 **DAY**

2013年5月18日

5月18日は「国際博物館の日」です。世界共通テーマのもと、全国の博物館・美術館・動物園・水族館などでさまざまな行事を開催しています。

博物館(記憶と創造)は
MUSEUMS (MEMORY + CREATIVITY)
= SOCIAL CHANGE
未来をつくる

主催 公益財団法人日本博物館協会 イコム日本委員会
後援 文部科学省
協賛 株式会社第一成和商事 株式会社丹育社
株式会社エーデルマンデザイン 株式会社研究所 株式会社トリノアドエー
株式会社日康 株式会社乃村工務社 株式会社世光堂

守ろう 地球の たからもの



身近な絶滅危惧植物たち



開催中

クレマチス園
公開
5/3(金・祝)→6/9(日)
※開園: 5/7(土) 13時 27時 6/3(月)

予告

夏休み
植物園
フェスタ
7.23(火)→8.4(日)
※月曜休園

予告

水草展
2013
8.10(土)→8.25(日) ※月曜休園

国立科学博物館筑波実験植物園 <http://www.tbg.kahaku.go.jp/>

(入園料)一般300円 高校生以下、65歳以上の方、障害者手帳をお持ちの方とその引率1名様は無料

入園無料日: 5/18(土)「国際博物館の日」

(所在地) 〒305-0005 茨城県つくば市天久保4-1-1 TEL 029-851-5159 FAX 029-853-8998

□電車・バスで

つくば方面へのアクセス

つくばエクスプレス線「秋葉原駅」から「つくば駅」へ(快速利用で45分)

東京駅(八重洲南口)から高速バスにて「つくばセンター」へ(約60分)

つくば駅(つくばセンター・バスターミナル)からのアクセス※

つくば駅南口つくばセンター・バスターミナルより関東鉄道バス(約5分・160円)

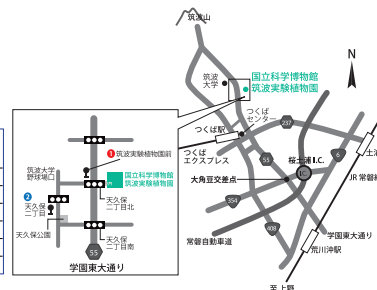
●5番乗り場: テクノパーク大橋行き「筑波実験植物園前」下車徒歩2分

●6番乗り場: 筑波大学循環(左回り)「天久保二丁目」下車徒歩8分

※路線バス時刻表

	平日	土日祝
9		35
10	0 55	
11		
12		
13	20	
14	0	
15		

	平日	土日祝
9	10 30 50	0 40
10	10 30 50	20
11	10 30 50	0 40
12	10 30 50	20
13	10 30 50	0 40
14	10 30 50	20
15	10 30 50	0 40



絶滅危惧植物展

2013年5月18日(土)～6月2日(日)

国立科学博物館 筑波実験植物園

(開園時間) 9時～17時(入園は16時30分前まで) (休園日) 5月27日(月)

地球の
守るべき
大切なもの



絶滅危惧植物
アマミアワゴケの旅種アマミナ
企画展のナビゲーターです。

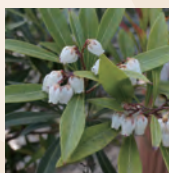
絶滅危惧植物展

2013年5月18日(土)～6月2日(日)

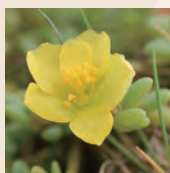
絶滅の恐れがある動植物について、環境省が2012年にまとめたレッドリストによると、日本に自生する約7,000種類の維管束植物のうち、約1,700種類が絶滅危惧植物に指定されています。つまり、約4種類に1種類が絶滅の危機に瀕していることになります。

地球の歴史をたどると、自然に絶滅した植物も数多くありますが、現在、植物が絶滅の危機に追いやられる理由の多くは、人間の営みによるものです。

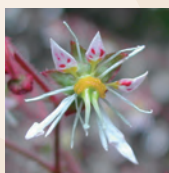
筑波実験植物園では、絶滅の恐れがある植物を調査・研究し、コレクションとして系統を維持・保全しています。園内で保有する絶滅危惧種は約500種類です。そのうち約170種類を常設公開しています。企画展では、常設展示に加え、花期を迎えるコレクションの特別公開、自然絶滅した植物の化石展示、わが国の現状や保全活動に関するパネル展示をおこない、さまざまな視点から、絶滅危惧植物との向き合い方を探ります。



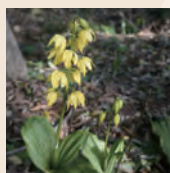
アマミアセビ



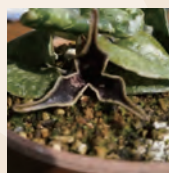
アマミミズバトラン



ホシザキユキノシタ



キエビネ



ホシザキカンアオイ

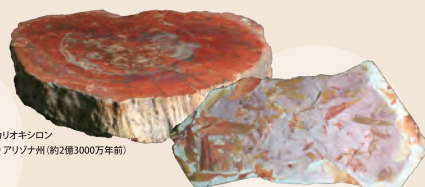
<関連イベント>

クイズラリー

各会場に
クイズがあります。

化石にさわろう

自然絶滅した植物の化石展示のうち、2点はお手をふれてご鑑賞いただけます。数億年前に繁栄し、その後絶滅して現存しない植物です。



アラウカリオキシロン
アメリカ アリゾナ州 (約2億3000万年前)

クロンツアテリス
オーストラリア (約2億3000万年前)

ぜんぶこたえと
プレゼントが
もらえます



展示案内

5月25日(土)・26日(日)【会場】教育棟
13:30～14:00

定員30名

予約不要

國府方吾郎 (国立科学博物館 植物研究部)
矢部淳 (国立科学博物館 地学研究部)

植物博士と化石博士が皆様に特に見せたい展示を厳選!!ダイジェストガイドツアーを開催します。お気軽にご参加ください。

開園30周年記念 公開シンポジウム

6月1日(土)
10:00～12:30

【会場】国立科学博物館総合研究棟 8階

定員150名

予約不要

筑波実験植物園開園30周年記念公開シンポジウム 「絶滅危惧植物を考えよう」

「日本の絶滅危惧植物はいま」

國府方吾郎 (国立科学博物館 植物研究部)

「沖縄の絶滅危惧植物と保護・保全に向けた研究」

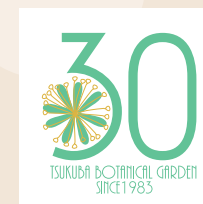
阿部篤志 (美ら島財団総合研究センター)

「花がつなぐ生き物の世界とその危機」

奥山雄大 (国立科学博物館 植物研究部)

「絶滅危惧植物保全の取り組み～「愛知目標」の達成に向けて」

西廣淳 (東邦大学)



開園記念樹セイヨウボダイジュの花を用いた30周年マーク

2013年10月に、当園は開園30周年を迎えます。これを記念した公開シンポジウムを開催し、植物園の役割と未来へ向けた取り組みを紹介しながら、これからの植物保全について考えます。

サイエンスカフェ

5月18日(土)
13:30～14:30

【会場】中央広場 (雨天時は研修展示館3階)

定員30名

予約不要

国際植物の日 国立科学博物館・筑波大学コラボイベント 「生物多様性と私たち」

大澤良 (筑波大学 生命環境系)

國府方吾郎 (国立科学博物館 植物研究部)



世界中の人たちと一緒に植物の大切さを見直し、様々な分野における植物科学の重要性をあらためて考えていくことをめざして、欧州植物科学機構 (European Plant Science Organisation; EPSO) のもと、2012年に5月18日が「Fascination of Plants Day」(国際植物の日―世界のみんなで植物のたいせつさを考える日―) に制定されました。関連イベントとして、筑波大学の澤田教授をお迎えしてサイエンスカフェを開催します。